

# 第5学年 国語科学習指導案

2組 計34人（男子16人，女子18人）

指導者 帖佐 康博

## 1 単元 グラフや表を引用して，説得力のある文章を書こう

（教材「天気を予想する」「グラフや表を引用して書こう」光村5年）

## 2 単元の目標

筆者が伝えたいこと，論の進め方，図表などの活用について考えながら読むとともに，統計資料を根拠として，意見文を書くことができる。

## 3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	B 書く能力	C 読む能力	言語についての知識・理解・技能
意見に説得力をもたせるためのグラフや表の有効性に気付き，書いたものを読んで確かめようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的なことや統計資料から必要な材料を見つけている。【(1)ア】</li> <li>「図1は～」などの表現を用いて，本文との関係を示している。【(1)エ】</li> <li>納得できる文章になっているかという観点をもって他者の文章を読み，優れた点を具体的に伝えている。【(1)カ】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフ・表・図・写真の意図と効果などに着目し，構成と筆者の説明の仕方の工夫を読み取っている。【(1)ウ】</li> <li>筆者の主張，根拠を自分なりに評価する観点をもち，筆者の主張について意見を表している。【(1)オ】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語と語の関係に気を付けることで，文の意味が捉えやすくなることに気付いている。【(1)イ(オ)】</li> <li>意見文の構成要素を理解している。【(1)イ(キ)】</li> </ul>

## 4 単元を貫く言語活動

本単元を貫く言語活動として，「B書くこと イ 自分の課題について調べ，意見を記述した文章を書く言語活動」の「見つけよう わたしたちのくらし」（意見文）を書く活動を位置付けるようにする。この意見文は，鹿児島でのくらしが「くらしやすいか」「くらしにくいか」をそれぞれの考えの裏付けとなる資料を用いて書くようにする。

意見文を紹介し合う活動を単元の最後に位置付けることで，子どもたちが「自分事の問い」をもって，主体的に教材文や統計資料を読んだり，学習したことを生かして意見文を書いたりすることができる。と考える。

## 5 単元について

### (1) 単元の位置とねらい

子どもたちはこれまでに，報告文を書くためにアンケートを採ってグラフにまとめたり，写真と文章を対応させて読み，説明の工夫について考えたりする学習を経験している。

そこで，本単元では「説得力のある意見文にするために，どんな資料を使って説明したらいいだろうか」という「単元を貫く『自分事の問い』」を基に，グラフ・表・図などの資料を文章と対応させて読んだり，書いたりして，説得力のある説明の仕方を身に付けることができるようにする。

教材「天気を予想する」は，天気予報的中率が近年高くなった理由と100%的中させることの難しさをグラフや表，図などを使って述べた説明文である。文章構成が，最初に大きな問いがあるのではなく，小さな問いがあって，その都度答えや考えが明確に示されており，段落相互の関係を捉えたり，筆者の考えを読み取ったりすることに適した教材である。教材「グラフや表を引用して書こう」では，調べ学習を通して収集したグラフや表などを効果的に用いて意見文を書く活動が設定されている。理由や根拠を明確にしながら自分の考えを説得力をもって説明する力を身に付けることに適した教材である。「くらし」について考えさせることは，社会科の「国民生活」，家庭科の「家庭生活」とも結び付けることができ，この時期の子どもにとって意味のある題材と言える。

ここでの学習は，説明の仕方，表現に着目して読む第6学年教材「『鳥獣戯画』を読む」の学習へとつながる。また，グラフや図表を用いた説明の仕方は，他教科でも活用が期待できる。

(2) 子どもの実態（調査日 平成26年9月22日 調査人数34人）

本単元の内容に関わる子どもの実態については、以下のとおりである。（数字は人数）

【調査1】意見文を書くことへの興味・関心
好き (9) [理由] 伝えることが楽しいから (8) 友達と意見を比べられるから (1) あまり好きではない (25) [理由] うまく書けないから (20) 意見に自信がないから (5)
【調査2】記述に関する指導【文章以外に説明を詳しくする方法】(複数回答)
図 (15) 絵 (12) 写真 (5) グラフ (3) 表 (1) 無答 (2)
【調査3】記述に関する指導事項【書いて分かりやすく伝えるために大切なこと】(複数回答)
分かりやすい言葉をつかう (8) きれいに書く (7) 正しく句読点を打つ (6) 主述の関係 (6) 段落を分ける (5) 文末表現をそろえる (3) 無答 (2)
【調査4】構成に関する指導事項【書き手の主張が述べられる場所】(複数回答)
「はじめ」だけ (6) 「中」だけ (3) 「終わり」だけ (11) 「はじめ」と「おわり」(26)
【調査5】主語・述語、修飾語・被修飾語の理解 ※正答人数
主語 (33) 述語 (25) 修飾語 (25) 被修飾語 (32)

6 指導に当たって

(1) 「単元を貫く『自分事の問い』」をもたせるための単元の導入

試行の活動	鹿児島での暮らしの「くらしやすさ」「くらしにくさ」の立場を明確にして意見文を書き、そう考えた理由を話し合う。
事象提示	理由を裏付ける資料を引用した意見文と資料の引用のない意見文。
単元の学習課題	「くらしやすさ」「くらしにくさ」についてグラフや表を引用して説明しよう。
話し合い	「くらしやすさ」「くらしにくさ」についてグラフや表を引用して説明するために、解決すべきことを話し合う。
「単元を貫く『自分事の問い』」	
○ 意見文は、どう書いたらいいのだろうか。	
○ 説得力のある意見文にするために、どんな資料を使って説明したらいいだろうか。	

「つかむ・見通す」過程において、まず、鹿児島での暮らしの「くらしやすさ」「くらしにくさ」について意見文を書き、その理由を話し合う。その後、理由を裏付ける資料を引用した意見文と資料の引用のない意見文のモデルを提示する。2つの意見文を比較して考えたことを話し合う活動を通して、資料を引用して説得力のある意見文を書くことのできるようになる。そして、単元の学習課題を提示し、グラフや表などを引用した意見文を書くためには、どのようなことを学ぶ必要があるか話し合う。そのような活動を通して、自分たちの暮らしの「くらしやすさ」「くらしにくさ」や説得力のある意見文にするための資料の選択の仕方を考えることへの必要感や切実感を抱き、「自分事の問い」をもつことができるようにする。

(2) 「自分事の問い」をもって学ぶ子どもを育てる単元の展開

「つかむ・見通す」以降の過程では、単元の初めに立てた学習計画を確認したり、位置付けられた活動に取り組む価値を見いださせる事象提示を工夫したりすることで、一単位時間における「自分事の問い」をもつことができるようにする。

「調べる・深める」過程では、教材文「天気を予想する」を読む際、グラフ・表・図・写真が入らない文章と比較しながら読み、気付いたことをワークシートに整理することで、資料の効果について考えることができるようにする。そして、統計資料の中から活用できそうな資料に付箋紙を貼っておくことで、自分の意見の裏付けに最も適した資料を吟味して選択することができるようにする。

「まとめる・広げる」過程では、「意見の提示」、「意見を裏付ける資料の提示」、「意見の再提示」の構成のワークシートを活用することで、双括型の意見文を書くことができるようにする。また、グラフや表の説明については「チェック表」を活用し、数値や出典等の表記に間違いがないか、確かめることができるようにする。

7 指導・評価計画（全10時間）

重点評価項目

過程 (時)	単元を貫く 議題	主な学習活動	学習課題 「自分事の問い」	教師の指導・評価 ◇ICT活用
<p>つかむ・見通す(2)</p> <p>調べる・深める(4)</p> <p>まとめる・広げる(3)</p> <p>高める・味わう(1)</p>	<p>「書くこと」</p> <p>自分の課題について調べ、意見を記述した文章を書く言語活動」の「見つめようわたしたちのくらし」(意見文)</p>	<p>1 「鹿児島」を題材に、「くらしやすさ」、「くらしにくさ」について意見文を書き、そう考えた理由を話し合う。</p> <p>2 説得力のある意見文を書くためには、どうすればいいか話し合い、単元の学習課題をつかむ。</p> <p>「くらしやすさ」「くらしにくさ」についてグラフや表を引用して説明しよう。</p> <p>3 単元の学習課題の解決に向けて課題を出し合い、「単元を貫く『自分事の問い』」をもつ。 <b>【本時】</b></p> <p>4 「自分事の問い」を基に、学習計画を立てる。</p> <p>5 「天気を予想する」の文章の組立てについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三つの問いと答えの関連を考える。</li> <li>○ 筆者が表・写真・図・グラフを用いた意図を考える。</li> <li>○ 筆者が伝えたかったことをまとめ、自分の感想を発表する。</li> <li>○ 語と語のまとまり、接続の仕方について考える。</li> </ul> <p>6 身の回りにあるグラフや表などを用いて説明されている資料を持ち寄り、その効果を考える。</p> <p>7 「くらしやすさ」「くらしにくさ」について資料を効果的に使って、意見文を書く。</p> <p>8 書いた意見文を読み直し、より分かりやすい表現に書き直す。</p> <p>9 書いた意見文を読み合ったり、単元の学習を振り返ったりする。</p>	<p>意見文に説得力をもたせるには、どうしたらいいのかな。</p> <p>意見文は、どう書いたらいいのかな。 説得力のある意見文にするためには、どんな資料を使って説明したらいいのかな。</p> <p>説得力のある意見文を書くために</p> <p>筆者はどんな構成で自分の考えを述べているのかな。</p> <p>筆者は何のために、表や写真、図、グラフなどを使ったのかな。</p> <p>筆者が一番伝えたかったことは何かな。</p> <p>身の回りにも、グラフや表などを使って説明されているものがあるかな。</p> <p>自分の意見に説得力をもたせるためには、どんな資料を選べばいいかな。</p> <p>友達は説得力をもたせるために、どんな資料を引用したのかな。</p> <p>単元を通して、自分はどんな力が身に付けることができたのかな。</p>	<p>◇ICT活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 共通の題材で試しの意見文を書くことで、友達の見解との共通点・相違点を見付けることができるようにする。</li> <li>○ 理由を裏付ける資料を引用した意見文と資料の引用のない意見文のモデルを提示することで、解決すべき課題を見いだすことができるようにする。</li> <li>○ 見いだした課題について話し合うことで、「単元を貫く『自分事の問い』」をもつことができるようにする。</li> </ul> <p>意見に説得力をもたせるためのグラフや表の有効性に気付いている。【国語への関心・意欲・態度：発言、ノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ グラフ・表・図・写真が入らない文章と比較しながら読むことで、資料の効果について考えることができるようにする。</li> </ul> <p>グラフ・表・図・写真の意図と効果などに着目し、構成と筆者の説明の仕方の工夫を読み取ることができる。【読む能力：発言、ノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教室に統計資料を用意しておくことで、日頃から資料を選ぶことができるようにする。</li> </ul> <p>「図1は～」「下のグラフは～」などの表現を用いて、本文との関係を示すことができる。【書く能力：意見文】</p> <p>◇ 作品を書画カメラで提示することで、友達の作品のよさなどについてみんなで感想を交流できるようにする。</p> <p>友達の意見文の優れた点を具体的に伝えることができる。【書く能力：付箋紙】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元導入時に書いた意見文と比較することで、本単元で身に付けた力を実感することができるようにする。</li> </ul>

8 本 時 (1 / 10)

(1) 目 標 意見に説得力をもたせるときの資料の有効性に気付くことができる。

(2) 展 開 □は教師の言葉掛け □は予想される子どもの反応 □は「自分事の問い」 ◆は重点評価項目 ☆はICT活用の留意点

過程(分)	主な学習活動と予想される子どもの反応	教師の指導
つ見 か通 むす (15)	<p>1 鹿児島のからしの「くらしやすさ」「くらしにくさ」について意見文を書き、そう考えた理由を話し合う。</p> <p>鹿児島のからしは、「くらしやすい」と思いますか。「くらしにくい」と思いますか。</p> <p>桜島の灰がよく降るので、くらしにくいと思います。</p> <p>1年中暖かいので、くらしやすいと思います。</p>	<p>○ 自分の立場とその理由を書かせるワークシートを活用することで、自分の意見を明確にもつことができるようにする。</p> <p>○ 子どもたちから出された意見を「くらしやすさ」「くらしにくさ」に分類して板書することで、書く材料が見付けられなかった子どもたちが意見文を書くときの手掛かりにすることができるようにする。</p>
調深 べめ る (15)	<p>2 理由を裏付ける資料を引用した意見文と資料の引用のない意見文のモデルを比較して、気付いたことを話し合う。</p> <p>具体的な数字やグラフ、表などがあると、説得力のある意見文になります。</p>	<p>○ 理由を裏付ける資料を引用した意見文と資料の引用のない意見文のモデルを提示することで、意見に説得力をもたせるときの資料の有効性に気付くことができるようにする。</p>
	<p>3 単元の学習課題を確認する。</p> <p>「くらしやすさ」「くらしにくさ」についてグラフや表を引用して説明しよう。</p>	<p>☆ 意見文のモデルで提示した資料を電子黒板に提示し、その資料から分かることを確認することで、文章と資料とが対応していることに気付くことができるようにする。</p>
ま広 とげ め る (10)	<p>4 単元の学習課題を解決していくために、どんな学習が必要か話し合う。</p> <p>グラフや表を引用して意見文を書いていくためには、どんな学習をしていく必要がありますか。</p> <p>意見文は、どう書いたらいいのかな。</p> <p>説得力のある意見文にするためには、どんな資料を使って説明したらいいのかな。</p>	<p>○ 単元の学習課題を基に、解決すべき内容を話し合うことで、「単元を貫く『自分事の問い』」をもつことができるようにする。</p>
高味 めわ る う (5)	<p>5 自分が書いた意見文に、どんな資料があれば自分の意見の裏付けとなるか考える。</p> <p>鹿児島のからしの「くらしやすさ」「くらしにくさ」を書いた自分の意見文に説得力をもたせるためには、どんな資料が必要だと思いますか。</p> <p>桜島の噴火の多さを伝えたいので、噴火回数が分かる資料が必要です。</p> <p>鹿児島のからしの暖かさを伝えたいので、年間の平均気温が分かる資料が必要です。</p>	<p>○ 単元の導入で自分に必要な資料を想定しておくことで、意見文を書くときまでに資料の準備をすることができるようにする。</p> <p>○ 必要な資料について話し合うことで、グラフや表だけでなく、図や写真などの資料活用についても考えることができるようにする。</p> <p>◆ 意見に説得力をもたせるためのグラフや表の有効性に気付いている。 【国語への関心・意欲・態度：発言】</p>